

平成25年度 施策達成度評価シート (24年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	45	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用

評価責任者名	教育部長 鷹嘴 徹
評価シート作成者名	教育次長 柴田 道明

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民 歴史的文化遺産	歴史的文化遺産を保護・活用する

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
文化財数 (国・県・市指定)	件	↗	267	270	268	272	276
アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	%	↗	60.15	63.00	60.50	63.00	67.00

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
文化財数 (国・県・市指定)	青森市所在指定文化財数 74件(H25.6.17) 秋田市所在指定文化財数 272件(H25.3.27) 仙台市所在指定文化財数 228件(H25.4.17) 山形市所在指定文化財数 188件(H25.4.1) 福島市所在指定文化財数 142件(H25.6.17) (登録有形文化財を除く)
アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	データなし

3 達成度評価結果

取組内容と成果	61件の歴史文化資源の調査を行い、指定候補物件のうち1件を市の文化財として指定した。また、指定文化財の管理者に対する維持管理費補助金の交付による維持保存、文化遺産の継承に努めたほか、近代化遺産建造物の公開事業などを実施し、文化財に対する市民の理解の促進を図った。 また、国指定史跡「志波城跡」の整備、「盛岡城跡」石垣の変位調査等を行い、史跡の保護に努めるとともに、「志波城まつり」を開催し、史跡の活用を図った。 博物館施設については、遺跡の学び館及び歴史民俗資料館を直営で、原敬記念館、先人記念館及びもりおか歴史文化館を指定管理により運営し、常設展示及び企画展示を行うことにより、市の歴史や文化を広く紹介した。 また、太田・本宮地区に集中している博物館等5施設が、県立美術館と連携を図り、共同でのイベントや情報発信を行い、各施設の利用促進を図った。 博物館施設の入館者数については、「東北六魂祭」の開催等もあり、前年度実績より大幅に増加し、目標値も上回った。なお、指定管理者制度による運営は、良好であった。
成果を押し上げた要因	「東北六魂祭」や「いわてディスティネーションキャンペーン」の開催により、観光客が増加し、博物館施設入館者数が増加した。
目標と成果とにギャップがある場合、その要因	文化財数については、歴史文化資源調査の1件当たりの調査量が多く、件数の成果に結びつきにくかった。
これからの課題	主要な史跡について、計画的な保存管理に努めるとともに、継続的な活用を図っていく必要がある。また、年々増加する歴史・文化資料及び情報を蓄積する手段や手狭になっている資料等の保管施設の確保が必要である。 各博物館が魅力ある企画展・イベントの実施や、博物館施設の連携を図ることにより、地域における施設の認知度が向上し、入館者の増加につながることから、今後も、各博物館施設の特色を活かすとともに、関係施設との連携を強化していく等、一層の工夫が必要である。 指定管理者制度に移行した施設については、市民サービスの向上と管理運営の効率化のため、指定管理者と連携を図るとともに、適切な指導を行っていく必要がある。

4 各主体に期待する役割

	役割の内容
市	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的文化遺産の保存・維持のため、情報収集及び蓄積を図り、正確に伝えとともに、市民や所有者へその保護と活用について助言指導を行う。 ・歴史文化資料の収集・調査・活用・保管を充実させ、市民が郷土の歴史や先人の功績に触れる機会をつくる。
国・県・ 他自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的文化遺産の保存・維持のため、専門的な指導及び助成を行う。 ・博物館運営及び整備に関する専門的な指導を行う。
市民・NPO	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の所有者・管理者の文化財に対する理解は、その保護・保全の基本である。地域の歴史的文化遺産の保護と活用を図り、まちづくりに活かしていく場合にも大きな力となる。 ・地域固有の歴史文化資源及び郷土が輩出した先人について学び、歴史文化への理解を深める。
企業・その他	

5 成果達成への基本事業の貢献度

コード	基本事業		比重
	名称		
451	歴史的文化遺産の保護と活用		75
452	博物館施設の整備と活用		25

平成25年度 施策達成度評価シート (24年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	45	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用
基本事業			
コード	名称		
451	歴史的文化的遺産の保護と活用		

評価シート作成者名	教育次長 柴田 道明
-----------	------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民 歴史的文化的遺産(史跡、遺跡、歴史的建造物、郷土芸能などの有形・無形の文化財等)	地域の貴重な歴史的文化的遺産を次世代に伝える

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
文化財数(国・県・市指定)	件	↗	267	270	268	272	276
市保存建造物数	件	↗	23	23	23	23	29
歴史・文化資源(石碑・記念碑・歌碑など)累積調査件数	件	↗	9,509	9,700	9,570	9,711	9,717

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	歴史的文化的遺産の保存・維持のため、情報収集及び蓄積を図り、正確に伝えとともに、市民や所有者へその保護と活用について助言指導を行う。	50
	国・県・ 他自治体	歴史的文化的遺産の保存・維持のため、専門的な指導及び助成を行う。	35
	市民・NPO	文化財の所有者・管理者の、文化財に対する理解は、その保護・保全の基本である。地域の歴史的文化的遺産の保護と活用を図り、まちづくりに活かしていく場合にも大きな力となる。	15
	企業・その他		0

平成25年度 施策達成度評価シート (24年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	45	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用
基本事業			
コード	名称		
452	博物館施設の整備と活用		

評価シート作成者名	教育次長 柴田 道明
-----------	------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民 博物館施設	地域の歴史や文化を知ってもらう。

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
博物館施設入館者数	人	↗	319,699	374,000	404,347	330,000	244,000

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	歴史文化資料の収集・調査・活用・保管を充実させ、市民が郷土の歴史や先人の功績に触れる機会をつくる。	60
	国・県・ 他自治体	博物館運営及び整備に関する専門的な指導を行う。	10
	市民・NPO	地域固有の歴史文化資源及び郷土が輩出した先人について学び、歴史文化への理解を深める。	30
	企業・その他		0